

地域協働合校推進事業

Chapter.1 地域協働合校の基本理念

● 趣旨

本市では、学校・家庭・地域が協働しあらゆる教育資源を活かして市全体で子どもを育成する「地域協働合校」を推進しています。すなわち「ALL草津」で子どもを育てる」ことが本市の方針です。

地域協働合校では草津市教育振興基本計画に基づき、地域の大人が子どもの学びを支えるとともに、地域に開かれた学校で子どもと大人が協働し、ともに輝けるよう「社会全体で学びを進める」ことを目指します。

● 基本理念

学校・家庭・地域がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、互いに協働することにより、子どもが健全に育ち、人が輝く地域づくりを目指します。

● 活動目標

次のことを活動目標として進めます。

- ◆ 地域に開かれた学校づくり …………… 地域による学校支援を推進するとともに、学校と地域が協働し、地域の課題の解決に資する活動に取り組みます。
- ◆ 地域で子どもが育つまちづくり …… 子どもと大人がともに参加する地域活動に取り組みます。

Chapter.2 事業内容

● 地域

子どもたちは地域でさまざまな人やものに接し、出会いとつながりの中で学びを深めます。特別に作りあげた地域行事の場でなくても、普段から地域活動に子どもが参加することは、子どもにとって価値のある経験であり、教育となります。また、大人にとっても培ってきた経験や技能を発揮する場となり、自身の生き方に影響を与えたり、生きがいにつながるなど、人生を豊かで充実したものにする効果も期待できます。この観点から、地域の日常的な活動に子どもが参加できる機会を学校と連携しながら創出し、地域の特色を活かした活動を展開します。

● 学校

学校は、子どもの学びを深める場所です。その学習の支援のために地域の大人が参画することは、学習内容を豊かにし、学びの効果を大きくします。また、学校の諸活動に地域の大人が参加する姿は、それ自体が子どもへの優れた教育になります。

本市では「スクールESDくさつ推進事業」に取り組み、環境・健康・福祉・人権・産業・歴史文化等に関わる様々な地域課題を体験的な学習を通して、その解決に子ども達が主体的にかかわり、地域社会の一員としての意識と行動力を身につけることを目指します。地域協働合校においても、これまでの事業に加え、持続可能な社会の創り手を育むための課題解決型事業を推進します。

● 家庭

地域・学校と連携し、子どもの基本的生活習慣の確立に向けて指導の充実を図るとともに、家庭で参画できるプログラムを展開します。

Chapter.3 推進体制の整備

小学校および中学校ごとに、まちづくり協議会、地域の各団体や学習ボランティア・PTA役員・学校および大学等の有識者など幅広い組織から構成された地域協働合校推進組織において、事業の推進を図ります。

また、市において、文部科学省・滋賀県の補助事業（学校を核とした地域力強化プラン）を活用し、教育支援活動の企画や運営方法を検討する学校運営協議会との連携による機能の充実を図るとともに、学校・家庭・地域の調整等を行う地域コーディネーターを設置し、学校・家庭・地域の連携を推進します。

Chapter.4 事業推進にあたって

● 地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の充実と地域人材の発掘

地域協働合校担当者（教職員）と地域コーディネーターが協力し、地域の教育資源や、学校のさまざまな支援が図れる人材の発掘を行い、それらをつなぐ役割を実践することにより、さらに充実した地域協働合校事業の推進を図ります。

また、地域コーディネーターが主体的に地域と学校の橋渡し役となり、学校と地域の連絡調整、地域の協力者の開拓等を推進するとともに、地域と学校の実情に応じた定期的・継続的な活動プログラムのコーディネートを図ります。

● コミュニティ・スクールくさつとの連携強化

コミュニティ・スクールくさつにおける学校運営協議会との連携を強化し、一体的な推進を図ります。

